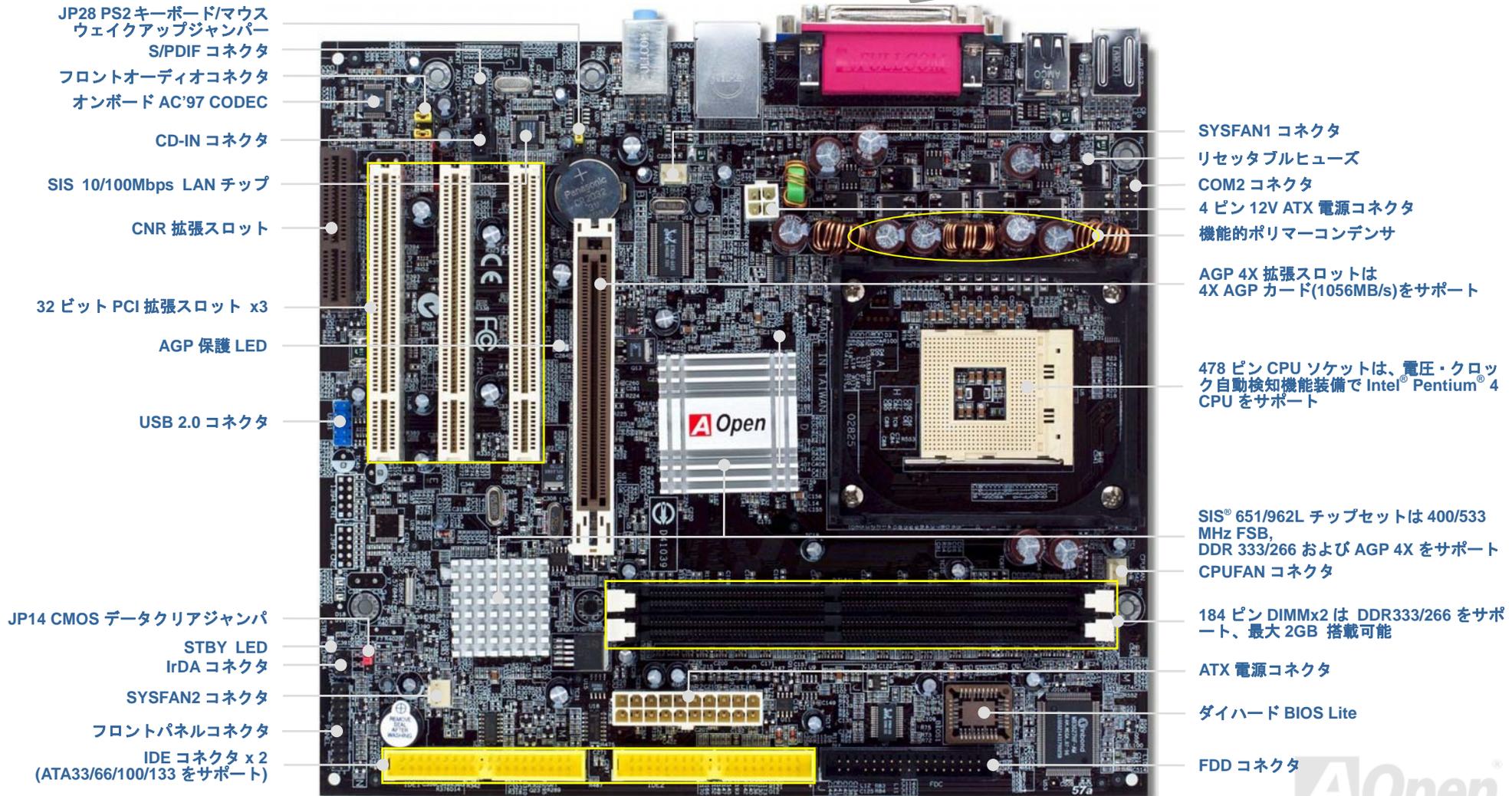
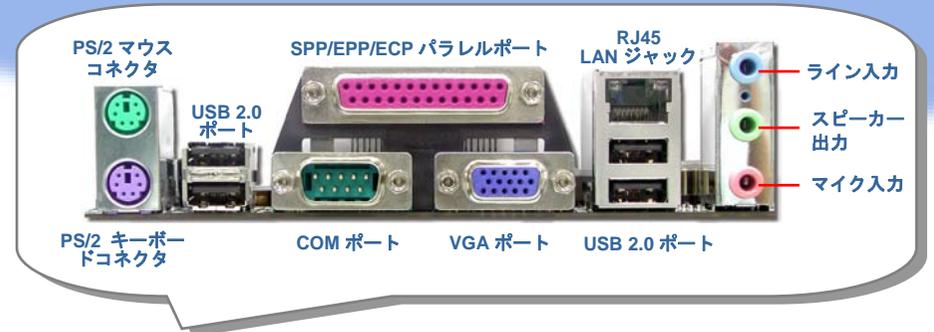


s651m



インストールの準備

当マザーボードをインストールするのに必要な情報は全て、このイージーインストールガイドに載せられています。さらに詳細な内容についてはオンラインユーザーズマニュアルがボーナスパックCDに収録されています。地球環境保護へのご協力に感謝いたします。

DIYでインストール

付属品チェックリスト

- イージーインストールガイド x 1 式
- 80 芯線 IDE ケーブル x 1 本
- フロッピードライブケーブル x 1 本
- ボーナスポック CD x 1 本
- I/O シールド x 1 式
- CPU リテンションモジュール x 1 式



PART NO: 49.8EM02.JE1

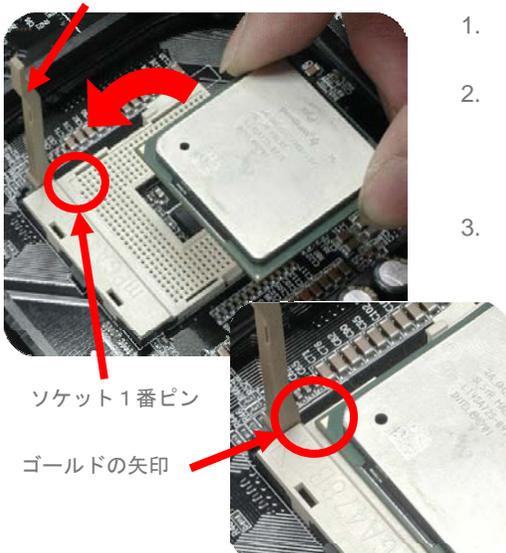
DOC. NO: S651M-EG-J0405A



1. CPUのインストール

当ソケットは Intel 開発の最新 CPU パッケージである FC-PGA2 パッケージ CPU のみサポートします。その他の形式の CPU パッケージは挿せません。

CPU ソケットレバー



ソケット 1 番ピン

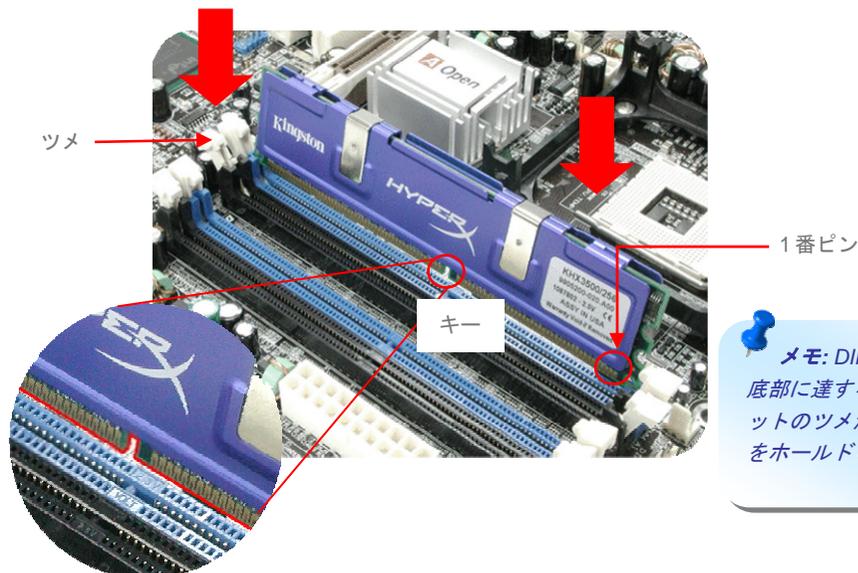
ゴールドの矢印

1. CPUソケットレバーを90度引き起こします。
2. ソケットの1番ピンを確かめCPU上部の(ゴールドの)切り欠き部分を確認します。1番ピンと切り欠き部を合わせます。これでCPUをソケットに差します。
3. CPUソケットレバーを戻すと、CPUのインストールは完了です。

ご注意: CPUソケットの1番ピンとCPU切り欠き部分が合っていないとCPUに損傷を与えます。

3. メモリモジュールのインストール

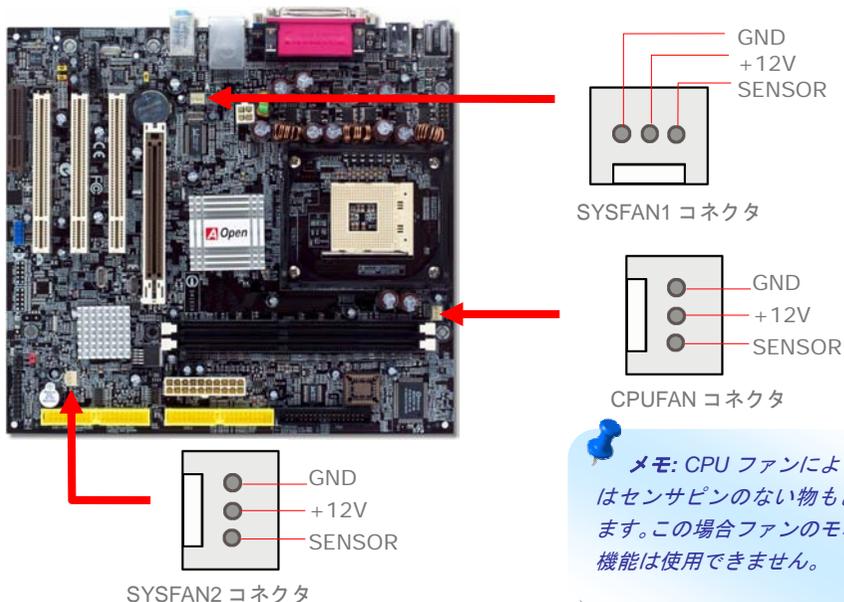
DIMM スロットは黒色で容易に判別できます。モジュールを両手で DIMM スロットにまっすぐ静かに、きちんと止まるまで挿します。



メモ: DIMMがスロット底部に達するとDIMMスロットのツメが起きてDIMMをホールドします。

2. CPUおよびシステムのファンのインストール

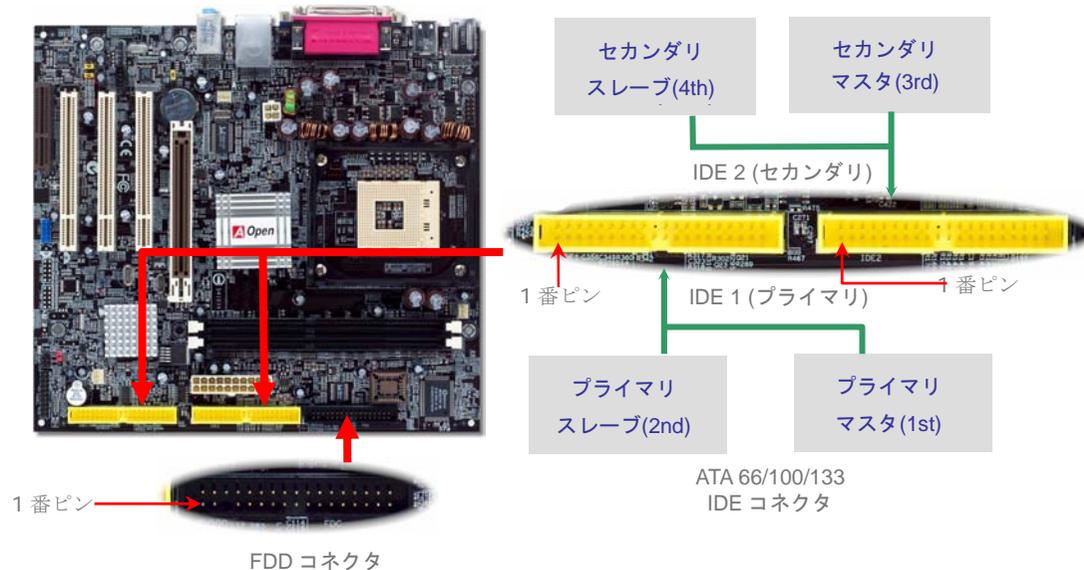
CPU ファンケーブルは、3ピンのCPUFAN コネクタに接続します。ケースファンがある場合は、これをSYSFAN1 またはSYSFAN2 コネクタに接続できます。



メモ: CPUファンによってはセンサピンのないものもあります。この場合ファンのモニタ機能は使用できません。

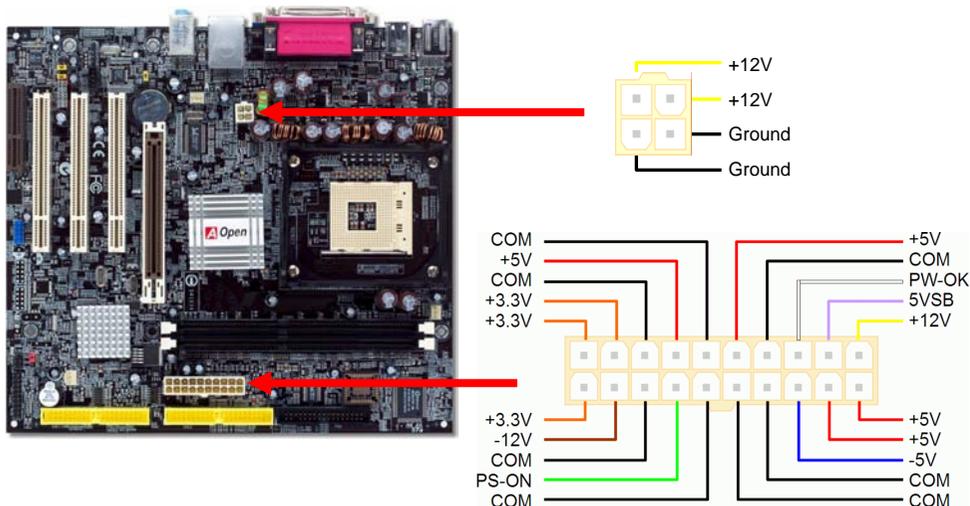
4. IDEおよびフロッピーのケーブルの接続

34ピンフロッピーケーブルおよび40ピン, 80芯線IDEケーブルをフロッピーコネクタFDDおよびIDEコネクタに接続します。1番ピンの向きにご注意ください。向きを間違えるとシステムの故障の原因となります。



5. ATX 電源ケーブルの接続

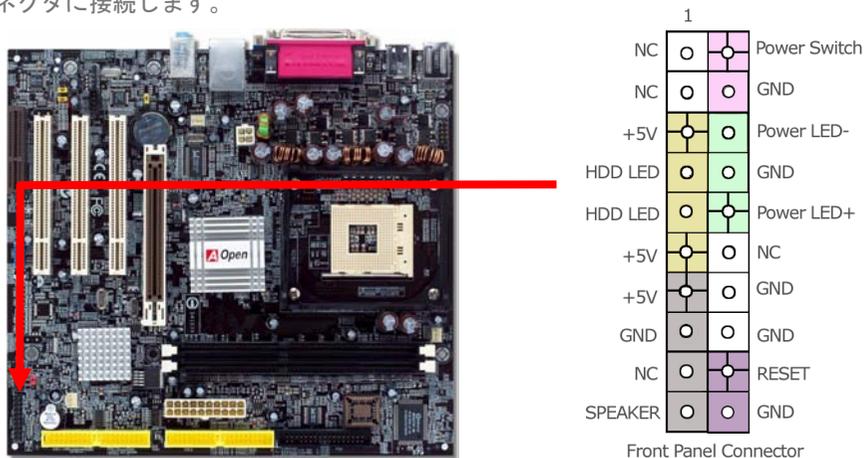
当マザーボードには下図のように20ピンおよび4ピンのATX電源コネクタが使用されています。挿し込む際は向きにご注意ください。20ピンATX電源コネクタより先に4ピン12V ATXコネクタを接続することを強くお勧めします。



6. フロントパネルケーブルの接続

電源 LED、スピーカー、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差します。BIOS セットアップで“Suspend Mode”の項目をオンにした場合は、ACPI および電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

お持ちの ATX の筐体で電源スイッチのケーブルを確認します。これは前部パネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを **SPWR** と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続します。



7. 電源オンおよびBIOS 設定のロード

Del

ジャンプ設定およびケーブルの接続を終了したら、電源をオンにし、BIOS セットアップに入ります。これには POST (電源オン時のセルフテスト)中にキーを押します。“Load Setup Defaults”を選ぶと、推奨される最適な性能に設定されます。



8. AOpen ボーナスパック CD および EzInstalII

ボーナス CD ディスクのオートランメニューがご使用いただけます。左側のアイコンからユーティリティやドライバを選び、“GO”ボタンを押せば、インストールは最後まで自動的に行われます。



CPU 電圧およびクロックの設定

CPU コア電圧の設定

当マザーボードは電圧 ID (VID)機能で電源オン時に CPU 電圧の自動検出が可能です。

CPU クロックの設定

当マザーボードは CPU ジャンパレス設計なので、CPU クロック設定は BIOS の 1MHz ステップ CPU オーバークロック機能から行います。CPU コアクロック = CPU FSB クロック × CPU レシオ。ただし、現在市場に流通する CPU は"倍率固定"、すなわちユーザーによる CPU レシオは調節不可能で、オーバークロックには CPU FSB クロックのみが調節可能です。

(オーバークロックはユーザーご自身のリスク管理で行ってください。)

BIOS Setup > Frequency / Voltage Control > CPU Speed Setup

| | |
|----------------------|--|
| CPUレシオ | 8x, 10x... 21x, 22x, 23x, 24x |
| CPU FSB (マニュアル調節) | FSB = 100MHz-248MHz, 1MHz ステップCPU オーバークロックによる |

| P4 CPU | CPUコア クロック | FSB クロック | システム バス | レシオ |
|-----------------|---------------|-------------|------------|-----|
| Pentium 4 1.8G | 1800MHz | 100MHz | 400MHz | 18x |
| Pentium 4 2.0G | 2000MHz | 100MHz | 400MHz | 20x |
| Pentium 4 2.2G | 2200MHz | 100MHz | 400MHz | 22x |
| Pentium 4 2.2G | 2200MHz | 133MHz | 533MHz | 16x |
| Pentium 4 2.26G | 2260MHz | 133MHz | 533MHz | 17x |
| Pentium 4 2.4G | 2400MHz | 100MHz | 400MHz | 24x |
| Pentium 4 2.4G | 2400MHz | 133MHz | 533MHz | 18x |
| Pentium 4 2.53G | 2530MHz | 133MHz | 533MHz | 19x |
| Pentium 4 2.66G | 2660MHz | 133MHz | 533MHz | 20x |
| Pentium 4 2.8G | 2800MHz | 133MHz | 533MHz | 21x |
| Pentium 4 3.06G | 3066MHz | 133MHz | 533MHz | 23x |

メモ: CPUクロックはたびたび変更されています。当インストールガイドを手入れた時点でも、より高速のCPUが市場に出回っているかもしれません。この一覧表はユーザー皆様の参照用です。

メモ: CPUファンによってはセンサピンがない物があります。この場合、ファンモニタ機能は使用できません。

警告: SIS 651 チップセットは最大 533MHz (133MHz*4) のシステムバスおよび 66MHz AGP クロックをサポートしています。より高速の設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

メモ: SIS 651 チップセットは Intel P4 プロセッサをサポートしています。P4 プロセッサはクロックレシオを自動検出するのでクロックレシオのマニュアル設定は不可能です。

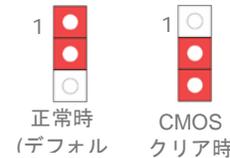
JP14 による CMOS のクリア

CMOS をクリアすると、システムをデフォルト設定値に戻せます。以下の方法で CMOS をクリアします。

1. システムをオフにし、AC コードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. JP14 を通常動作時の 1-2 ピン接続に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差します。



1 番ピン

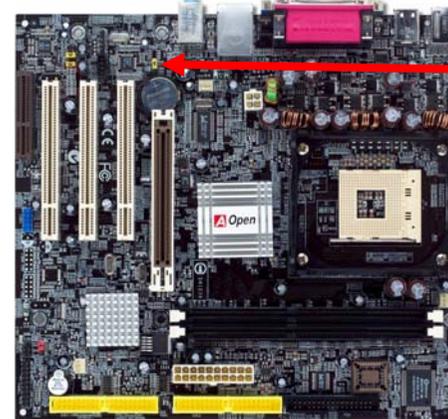


ヒント: CMOS クリアが必要な場合は?

1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

JP28 キーボード/マウスウェイクアップジャンパ

当マザーボードには PS2 キーボード/マウスウェイクアップ機能が装備されています。接続されている USB キーボードやマウスの動きでシステムがサスペンド状態からレジュームする機能のオン/オフには JP28 を使用します。工場デフォルト設定は"オフ"(1-2)ですが、ジャンパ位置を 2-3 にすることでこの機能がオンになります。

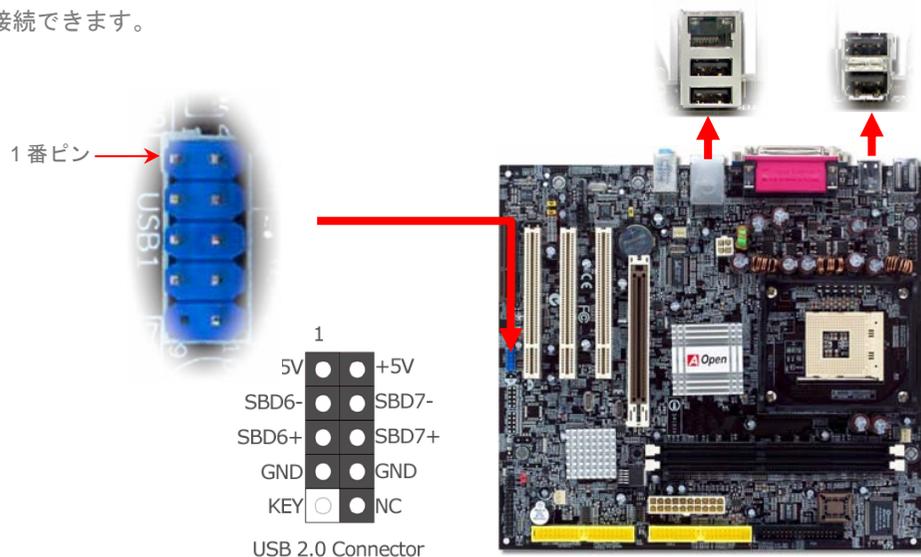


1 番ピン



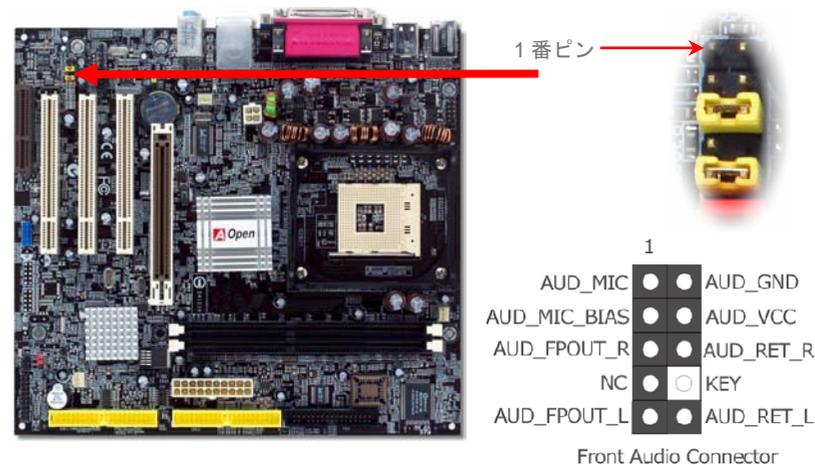
USB 2.0 コネクタ

当マザーボードは6個のUSB 2.0ポートを装備し、マウス、キーボード、モデム、プリンタなどのUSB機器が接続できます。後部パネルに4個のポートがあります。適当なケーブルにより、フロントUSBコネクタからUSBモジュールまたはケースのフロントパネルに接続できます。



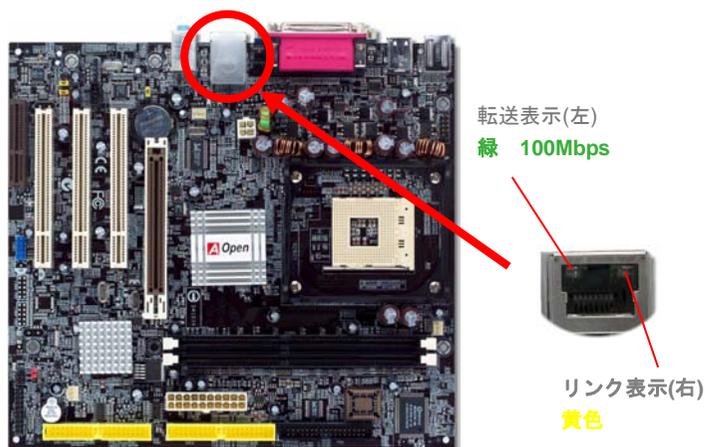
フロントオーディオの接続

筐体のフロントパネルにオーディオポートが装備されている場合、オンボードオーディオからこのコネクタを通してフロントパネルに接続できます。なお、ケーブルを接続する前にフロントパネルオーディオコネクタから5-6番ピンおよび9-10番ピンのジャンパキャップを外してください。フロントパネルにオーディオポートがない場合は、5-6番ピンおよび9-10番ピンの黄色いジャンパキャップを外さないでください。



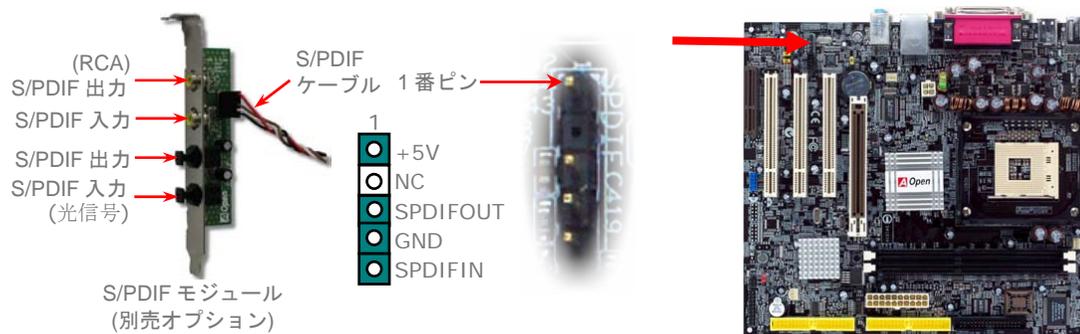
オンボード 10/100Mbps LAN

オンボードの高性能 10/100Mbps LAN コントローラにより、当マザーボードでは、10/100Mbpsイーサネットがオフィスやホームユースで利用可能です。イーサネット用RJ45コネクタはUSBコネクタ上部に位置します。右側のLEDはリンクモード表示で、ネットワークにリンクしている場合は黄色に点灯します。左側のLEDは転送モード表示で、データ転送速度が 100Mbps (10Mbps は消灯)の場合は緑に点灯します。この機能のオンオフはBIOSから簡単に設定できます。



S/PDIF コネクタ

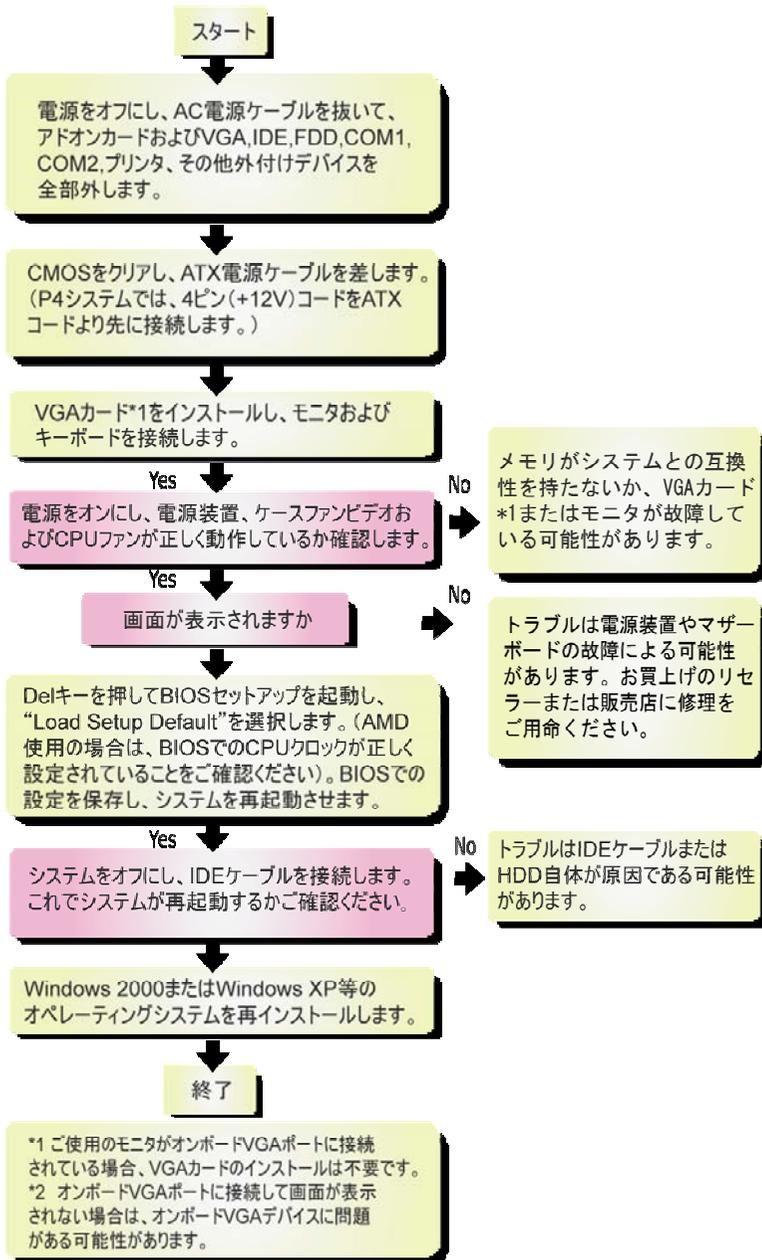
S/PDIF (Sony/Philips デジタルインターフェース)は最新のオーディオ転送ファイル形式で、アナログに取って代わるデジタルオーディオを光ファイバー経由で楽しめます。専用オーディオケーブルにより、SPDIFコネクタと別のS/PDIFデジタル出力をサポートするS/PDIFオーディオモジュールを接続します。図示されているように通常S/PDIF出力は2つあり、一方は大部分の消費型オーディオ製品に対応するRCAコネクタ、他方はより高品質のオーディオに対応する光コネクタです。出力と同様、モジュールの入力コネクタにRCAまたは光信号オーディオ製品を接続して、お持ちのコンピュータからサウンドを出すことも可能です。ただし、当機能の長所を最大限活かすにはSPDIFデジタル入出力をSPDIFデジタル入出力対応スピーカー/アンプ/デコーダに接続する必要があります。





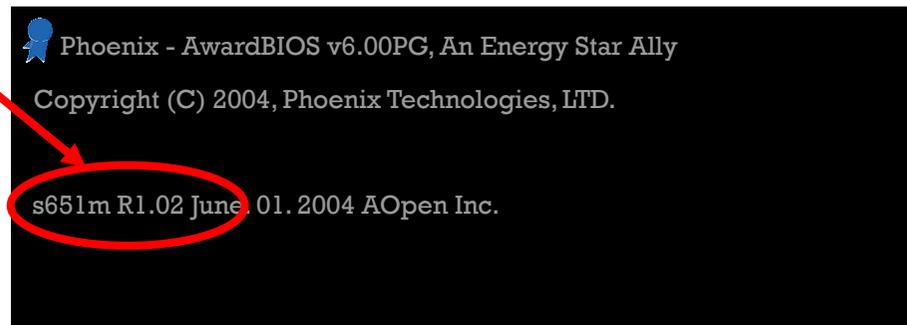
トラブルシューティング

システムのブートに関係したトラブルが起きたなら、問題を解決するために以下の手順に従ってください。



モデル名とBIOSバージョン

モデル名とBIOSバージョンはブートの最初の画面(POST画面)の上部左に現れます。例えば：



s651mはマザーボードのモデル名で、R1.02はBIOSバージョンです。

マザーボードを登録する

AOpen 製品をお選び下さりありがとうございます。Club AOpen のゴールド会員になるために、本マザーボードを <http://club.aopen.com.tw/productreg/> にてご登録ください。AOpen が高品質のサービスと優先度を保証するものです。スロットマシニングゲームに参加して、AOpen から賞を獲得するチャンスもあります。始める前に以下の情報を準備してください：**モデル名、部品番号 (P/N)、シリアル番号(S/N)、購入日付**です。部品番号とシリアル番号はバーコードラベルに印刷されています。このバーコードラベルはパッキングの外側がPCB のコンポーネント側にあります。例えば：



P/N: 91.88110.201 は部品番号、S/N: 91949378KN73 はシリアル番号です。

Phoenix-Award BIOS エラーメッセージ

| エラー音 | メッセージ |
|----------------------|--------------------------------------|
| 1 回短く (・) | システムのブートが正常 |
| 2 回短く (・・) | BIOS 設定エラー |
| 1 回長く - 1 回短く (-・) | メモリエラー |
| 1 回長く - 2 回短く (-・・) | AGP エラー (VGA カードかモニターの接続エラー) |
| 1 回長く - 3 回短く (-・・・) | VGA カードエラー (オンボード VGA 利用時はメモリエラーを含む) |
| 長いエラー音が継続 (- - - -) | メモリエラー (メモリが正しく装着されていない、正しく認識していない) |



テクニカルサポート

お客様各位

この度は AOpen 製品をお選びくださりありがとうございます。今後の良質なサービスを保証する Club AOpen のゴールド会員になるために <http://www.aopen.com> で登録して下さるようお勧めいたします。お客様各位への最良のサービスを維持できるよう、下記の手順に従い、皆様がお買い求めになった地域に従って、各地の支店からサービスをお受けになるようお願い致します。皆様のご協力によって、全てのお客様への効果的で最良のサービスを提供し続けてまいります。

ご理解に厚く感謝致します。

AOpen テクニカルサポートチーム

ヨーロッパ

AOpen Computer b.v.
Tel: 31-73-645-9516
Email: Support@AOpen.NL

中国

艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司
Tel: 86-21-6225-8622
Fax: 86-21-6225-7926

アメリカ

AOpen America Inc.
Tel: 1-510-489-8928
Fax: 1-510-489-1998

ドイツ

AOpen Computer GmbH.
Tel: 49-2131-1243-710
Fax: 49-2131-1243-999

環太平洋地域

AOpen Inc.
Tel: 886-2-3789-5888
Fax: 886-2-3789-5899

日本

AOpen Japan Inc.
Tel: 048-290-1800
Fax: 048-290-1820

ヨーロッパ
環太平洋
中国
ドイツ
アメリカ
日本

Email: Support@AOpen.NL
<http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm>
<http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm>
<http://www.aopencom.de/tech/default.htm>
<http://usa.aopen.com/tech/default.htm>
<http://aopen.jp/tech/default.html>

オンラインマニュアル：マニュアルをダウンロードするには、まずログインに必要な言語を指定します。“Type”のディレクトリから“Manuals”を選んで、マニュアルデータベースにアクセスします。マニュアルおよびイーजीインストールガイドはAOpenボーナスパックCDにも収録されています。
<http://download.aopen.com.tw/downloads>

テストレポート：PC組立てには、互換性テストレポートからboard/card/deviceの部分をご覧になることをお勧めします。これで互換性に関するトラブルを解決できるかもしれません。
<http://aopen.jp/tech/report/index.htm>

FAQ：ユーザーがよく直面する問題やFAQ(よく尋ねられる質問)が列挙されています。ログインに必要な言語を指定してから問題の解決方法を見てください。
<http://aopen.jp/tech/faq/index.htm>

ソフトウェアのダウンロード：ログインして必要な言語を指定した後、“Type”のディレクトリからアップデートされた最新のBIOSまたはユーティリティ、ドライバをダウンロードしてみます。大半の場合、最近のバージョンのドライバやBIOSにより、バグや互換性の問題が解決されます。
<http://download.aopen.com.tw/downloads>

eForum：AOpen eForumは当社製品に関して他のユーザーと討論する場所で、ユーザーの問題が以前に取り上げられたか以後答えを得られる可能性があります。ログインしてから“Multi-language”で必要な言語を指定します。
<http://club.aopen.com.tw/forum/>

当社へのご連絡：ご連絡に先立ち、システム設定の詳細情報およびエラー状況をご確認ください。パーツ番号、シリアル番号、BIOSバージョンも大変参考になります。

販売店、リセラーへのご連絡：当社は製品をリセラーおよびシステム設計会社を通して販売しております。ユーザーのシステム設定に関して熟知しており、お持ちの問題の解決方法または重要な参考情報が提供される可能性があります。